

嘘のような本当の話 (2)

今年春の東京浅草の「スタンプショウ」開催中の出来事です。一人の「上品な老紳士」がブースに立ち寄られ、70年前の思い出を語り始められました。

九州の中学校で修学旅行で関西周遊を楽しまれた際、小遣い3000円（当時としてはかなり高額？）を握りしめて当センターに御来店されたとのこと。まだ当センターが大阪の心斎橋にあった頃です。その際に今も記念切手としては最高額の制定シートを3000円で購入されたそうで、後日大阪の「岩おこし」も京都の「八つ橋」も土産に買って帰らず「切手を買ったとはけしからん」とお父さんにこっぴどく叱られたが楽しい思い出になったと語っておられました。その「制定シート」は今も大事に持っていますよということでした。

思い出を一気に語られた後、「新中国切手を一通り集めていたが、終活を始めオークションで処分したい。ちょっと珍しい物もありますよ。」「大歓迎です。宜しく願います。」

今回の出品に至りました。

金坂 忠彦

